

木のフォーク・スプーン

ただの木の枝も穴を開けて、金具を付ければ自分だけのステキなマイフォークやスプーンに変身します。自分で作ったものを使って料理を食べると味も格別に感じます。



ねらいとして考えられるもの

- ① 想像力・表現力を高める
- ② 名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。
- ③ 道具の使い方を身に付ける。

可能な活動場所

ピロティ・車庫

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	4年生以上	通年	10~60人 *2	2時間	各種 300円

団体が準備するもの

軍手

げんきプラザで貸し出せるもの

木片・フォーク・スプーンの金具・ドリル・ナイフ・ニス・ボンド・ノコギリ・マジックペン

実施要領

打ち合わせ

- ・開始 15 分前に、職員と団体代表者の打ち合わせを行います。

導入

- ① 動機付け
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台を準備する。
- ② 金具を配布する。ナイフは安全上、班代表者にまとめて渡す。
- ③ 木の枝を準備する。

実施

- ① 木の枝を 10~15cm ぐらいに切る。
- ② 金具の深さを測り、フォークやスプーンの先端になる方の中心に芯をいれるための穴をドリルで開ける
- ③ 金具を穴に入れ、十分な深さがあることを確かめる
- ④ 木の枝の表面にナイフを使って飾りを付ける
- ⑤ 表面に名前や絵を描く。
- ⑥ 穴にボンドを流し込み、金具を固定する。
- ⑦ ニスを塗り、乾くまでおいておく。

片付け

- ① 道具類は所定の場所に戻す。
※ナイフの返却は貸出同様にまとめて返す。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻す。

③ 下に落ちた木くずやゴミを掃き掃除する。ゴミは掃除用具入れ脇のペール缶へ。

まとめ

- ・作品を披露し合う。
- ・ふりかえり

留意点

- ・ドリルを使う時は指導者が補助を必ず行う
- ・ナイフの使い方・貸し借りの仕方は十分に気を付ける。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・作ったものを使い、実際に食事をする。

*1 指導可能時間は9:15～11:45 13:00～17:00です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

*2 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。